

第二部 パネルディスカッション

〈パネリスト〉	塩野義製薬株式会社 代表取締役社長	手代木 功 氏
	公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 理事・副事務総長	森 清 氏
	国連プロジェクトサービス機関 駐日事務所代表	千葉あずさ 氏
	日本総合研究所 常務執行役員	木下 輝彦
〈モデレータ〉	日本総合研究所 調査部 マクロ経済研究センター所長	石川 智久

(石川) では、第二部のパネルディスカッションを始めさせていただきます。

第二部からは、私、株式会社日本総合研究所の石川智久が司会進行とモデレータを務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

本日パネルディスカッションにご参加いただくパネリストは、塩野義製薬株式会社代表取締役社長の手代木功様、公益社団法人2025年日本国際博覧会協会理事・副事務総長の森清様、国連プロジェクトサービス機関駐日事務所代表の千葉あずさ様、そして当社株式会社日本総合研究所の木下輝彦、の4名の方々でございます。

それでは、初めに各パネリストの皆様より約10分ずつプレゼンテーションを行っていただきたいと思います。まずは手代木様、よろしくお願いいたします。

(手代木) 塩野義製薬の手代木です。本日、このような場にお招きをいただきまして、改めて日本総研様に感謝を申し上げます。

〔大阪万博・SDGsを通じた関西経済の活性化〕

それでは、本日は「大阪万博・SDGsを通じた関西経済の活性化」についてお話をさせていただきます。



手代木社長

〔What's SHIONOGI〕

塩野義製薬は大阪に本社を置く創業140年を超えた製薬企業です。私が社長になってから12年目になりますが、日本、あるいはグローバルにあった研究開発拠点を閉じまして、研究開発をすべて大阪に集中しております。そういう意味では、根っから関西にベースを置いている企業です。

〔大阪・関西の強み〕

大阪・関西の強みについてです。1番目は、現在は多くの製薬会社が東京に本社を置いておられますが、大阪は江戸時代から医薬品産業の中心でしたので、多くの製薬企業が集積しており、大阪・関西の医薬品産業は強みであると思っています。

また、関西には大阪大学、京都大学、神戸大学をはじめ、日本を代表する大学病院、教育機関、研究

機関に所属する方々が数多くおられ、私どもも共同研究もさせていただいております。

これだけ狭いジオグラフィーのなかで、これだけの高いクオリティの研究者の方々がおられる地域は、日本のなかでもそう多くはないだろうと思います。政府からも国家戦略特区ということで、とくにヘルスケアを中心に関西で様々なことをやろうと注目をさせていただいています。

日本総研シンポジウム



大阪万博・SDGsを通じた関西経済の活性化

2020年11月10日

塩野義製薬株式会社

代表取締役社長 手代木 功



What's SHIONOGI



**シオノギは、大阪市に本社を置く創業140年を超えた製薬会社です
医療用医薬品を中心に研究開発・製造・販売を行っています**

商号	塩野義製薬株式会社 SHIONOGI & CO., LTD.
代表者	代表取締役社長 手代木 功
創業	1878年3月17日 「創業143年目」
会社設立	1919年6月5日
本社所在地	大阪市中央区道修町
従業員数	連結 5,222名*
業種	医薬品製造販売業
事業内容	医薬品、臨床検査薬・機器などの製造・販売
連結売上高	3,350億円 (医療用医薬品 97% 一般用医薬品 3%)*



*2020年3月31日時点 (日本会計基準) 2

大阪・関西の強み



産 医薬品企業の集積

- ・ 江戸時代から、医薬品の産業クラスターとして発展
- ・ 現在でも数多くの医薬品企業が本社を置く

学 教育機関、医療機関、研究機関の集積

- ・ 優秀な大学医学部・薬学部を有する、アジアでも有数の人材の輩出地
- ・ 質の高い医療機関・研究機関を有する

官 関西圏国家戦略特区

- ・ 健康長寿社会の形成に資する新産業および国際展開の促進
－ヘルスケアを中核に他産業を巻き込んだ新産業の創出

〔日本が直面する課題〕

2020年の高齢化率は、対欧米比較でも、対アジア比較でも、日本が抜きんでいます。この点について中国政府の方とお話をすると、いい意味でも悪い意味でも日本に注目をしているとのことでした。日本が高齢化のハンドリングに失敗すれば、我々はそれと反対のことをすればよいし、高齢化のハンドリングがうまくいけば、我々はそれをまねすればよいと。よきにつけ、あしきにつけ、日本がこの高齢化問題をどのように乗り切るのか、世界中が注目をしているということです。

〔関西の社会課題〕

翻って関西を見てみますと、わが国のなかにおいても、現時点ではあまりいい位置におりません。とくに、本当の寿命と、健康でいろんなことができる健康寿命の差をみますと、残念ながら、関西は非常に差が大きい。つまり、健康寿命が短いというのが特徴です。

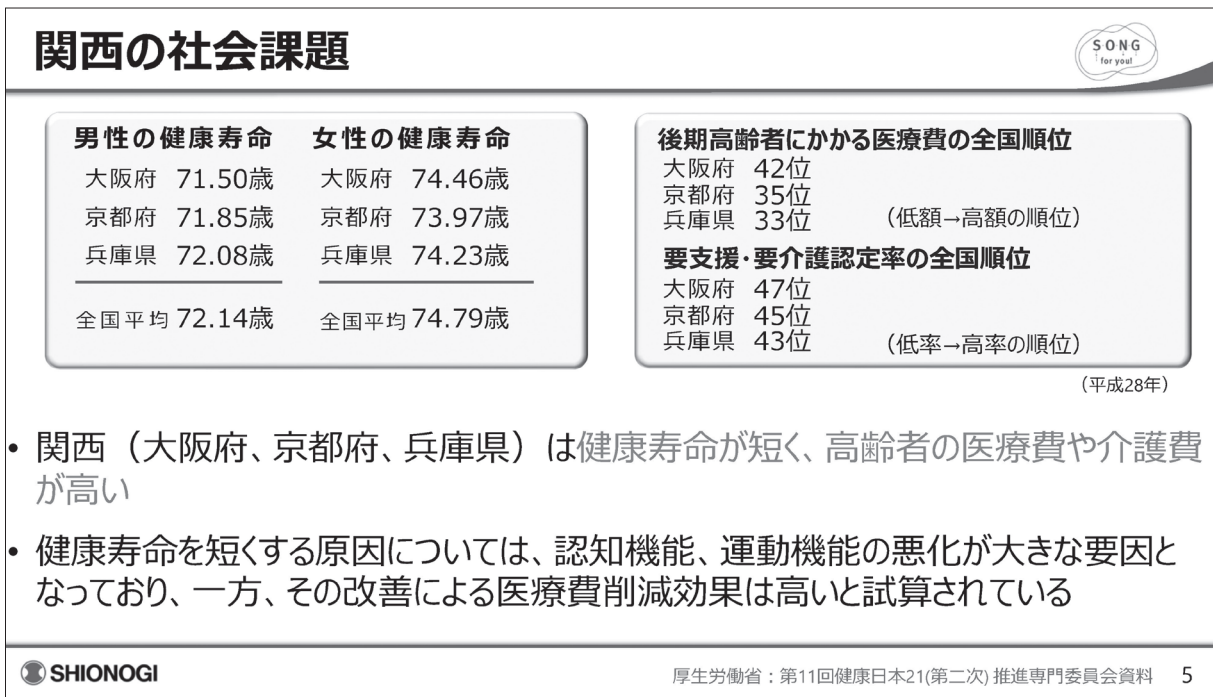
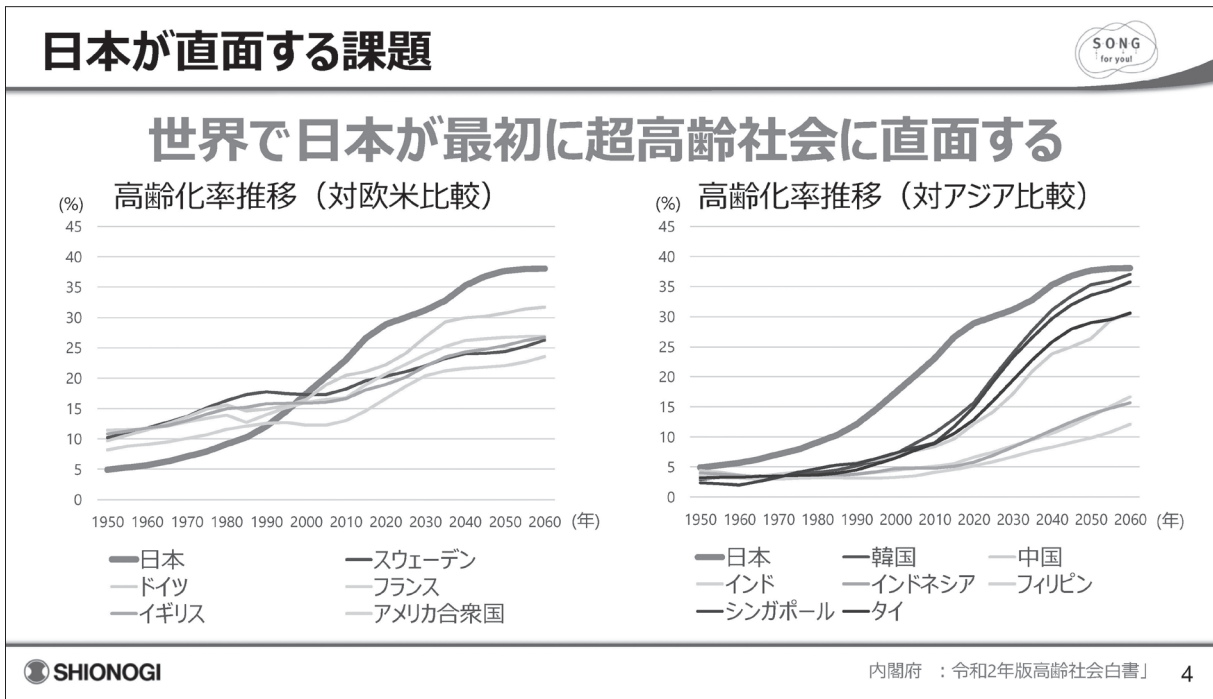
後期高齢者の医療費や、要支援・要介護認定率の全国順位についても低く、とくに大阪が低い。要支援、要介護認定率では大阪は最下位という状況です。

しかし、翻って考えますと、これをどのように改善をしていくのかをわが国を中心に、モデルケースとしてアジアや欧米にも出していける可能性があるとも考えられます。先ほどの問題提起のなかで、教育あるいは再生エネルギー等でも関西が低位にあるという話がありましたが、万博あるいはその先に、どう改善していくのかを変化率で見たときに、非常に大きな可能性があると考えております。

〔社会課題＝イノベーションの機会〕

グローバルに見て大阪・関西地域は課題先進地域であり、どのように解決していくのが、万博を契

機にした非常に大きなテーマであろうと思っています。そもそも関西は東大阪を中心とした非常に強い製造業のベースを持っています。また、大学・研究機関あるいはスタートアップ、アントレプレナーはもともと関西の得意とするところですので、こういったものを結集し、どのように解決策をつくり上げていくのが今からの課題と考えております。



社会課題 = イノベーションの機会



- グローバルに見ても大阪・関西地域は「課題先進地域」
- いずれ各国が直面する同様の課題に対応するための政策、社会・都市づくり、技術応用などの要素は後続のモデルとなる
- 医療分野だけでなく、介護、健康づくり、予防にスコープを広げると、1社の事業領域では不十分
- デジタルセラピー、コネクテッドヘルス、医療データやAIの活用など



大学・研究機関のもつサイエンスベースの知、
多種多様な産業を跨ぐ企業事業連携、
スタートアップの事業推進力の結集、イノベーションの「共創」が必要

〔2025年 大阪・関西万博が目指すもの〕

ということで、私どもは大阪・関西万博を一つの大きな機会にして、次のステージに持っていきたいと思っております。

2025年 大阪・関西万博が目指すもの



テーマ

「いのち輝く未来社会のデザイン」

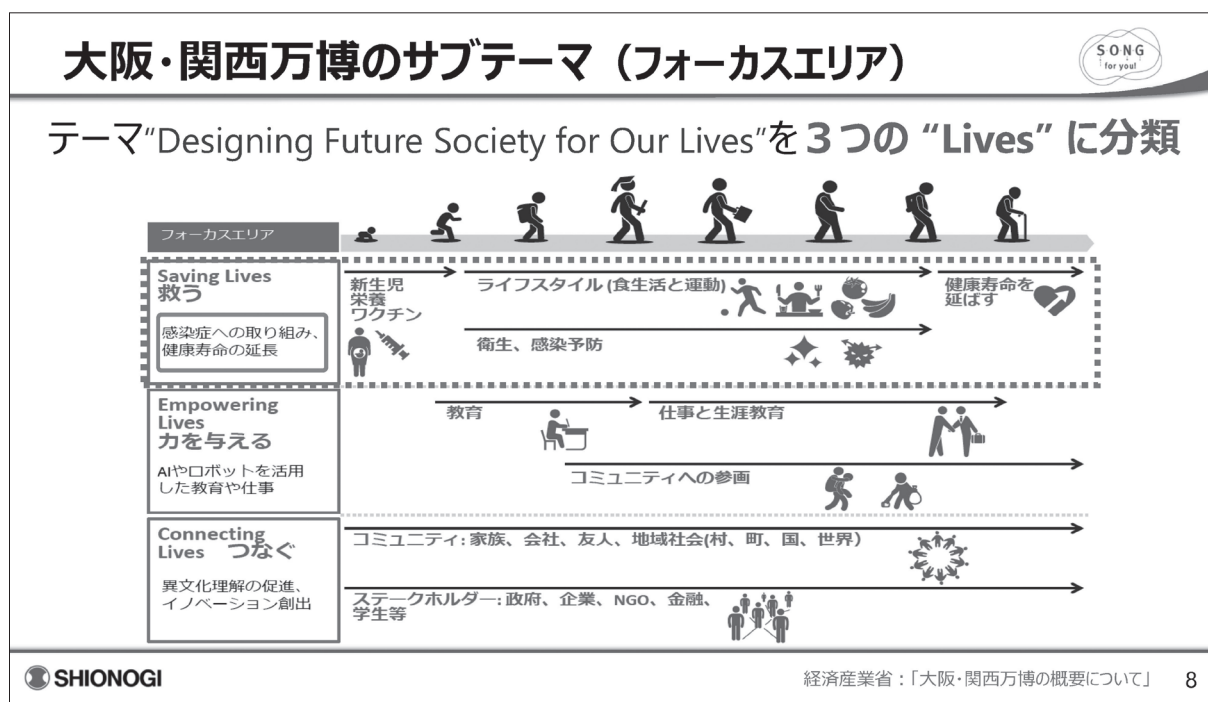
“Designing Future Society for Our Lives”

- 持続可能な開発目標(SDGs)達成への貢献
- 日本の国家戦略Society5.0*の実現



[大阪・関西万博のサブテーマ（フォーカスエリア）]

サブテーマ、フォーカスエリアにおける、「救う」の部分ですが、どうやって病気を予防し、どうやって長く健康で過ごしていただくのかを考える、このテーマに私どもも積極的に参画をしたいと思っています。



[シオノギの取り組む社会課題]

シオノギのマテリアリティである重要課題では、SDGsの目標3を中心に、8、9、12、17をとくに重視するターゲットにしております。これらは日本がOECD諸国と比べて弱いものですが、あえてテーマとしておりますのは、これらを中心にアジア諸国、アフリカ等に貢献していきたいと考えているからです。

まだまだ国際的にわが国が貢献できることは多いと思っております。そのなかでも重視する課題として、「感染症の脅威からの解放」があります。日本のなかにもたくさんの製薬会社がございますが、感染症を重点領域にしているのはシオノギくらいでして、そういった意味では、私どもにとっても、関西にとっても非常に大きなチャンスであると思っております。

[シオノギが感染症領域で目指す姿]

私どもにとっても今回のコロナは非常に大きな契機になりました。右から2番目の治療のところ、例えば抗ウイルス剤や抗菌剤などを中心に創薬を進めておりましたが、これだけでは不十分だということを知り、今回のコロナは気づかせてくれました。

予防、診断、そしてその後の重症化抑制。ここまで全部トータルにやって、初めて国際的な貢献も

きると思っております。私どもが「感染症の脅威からの解放」とマテリアリティに書かせていただいているのは、予防、診断、重症化抑制も含めて会社の形を変えていくことの宣言でもございます。

今回のコロナのワクチン、あるいは迅速に診断できる診断薬、こういったものに会社の資源をかなり割かせていただいているのもその表れです。

シオノギの取り組む社会課題

SDGsへの貢献	重視する課題
<p>・特に重視するターゲット</p> <ul style="list-style-type: none"> - 目標3 すべての人に健康と福祉を - 目標8 働きがいも経済成長も - 目標9 産業と技術革新の基盤をつくろう - 目標12 つくる責任 つかう責任 - 目標17 パートナースhipで目標を達成しよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症の脅威からの解放 ・社会生産性向上、健康寿命の延伸 ・持続可能な社会保障への貢献

SDGs: Sustainable Development Goals 9

シオノギが感染症領域で目指す姿

予防	診断	治療	重症化抑制
<p>免疫獲得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザワクチン ・新型コロナウイルスワクチン ・肺炎球菌ワクチン 	<p>適正診断</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザ診断 ・新型コロナウイルス診断薬 	<p>病原体の排除・減少</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重症感染症治療薬 ・三大感染症治療薬 ・インフルエンザ治療薬 ・新型コロナウイルス感染症治療薬 	<p>宿主応答の制御</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿主因子を標的とした治療・重症化予防薬

社会・医療ニーズに応える感染症トータルケアを実現

10